



# 2018年度 春季 審判講習会

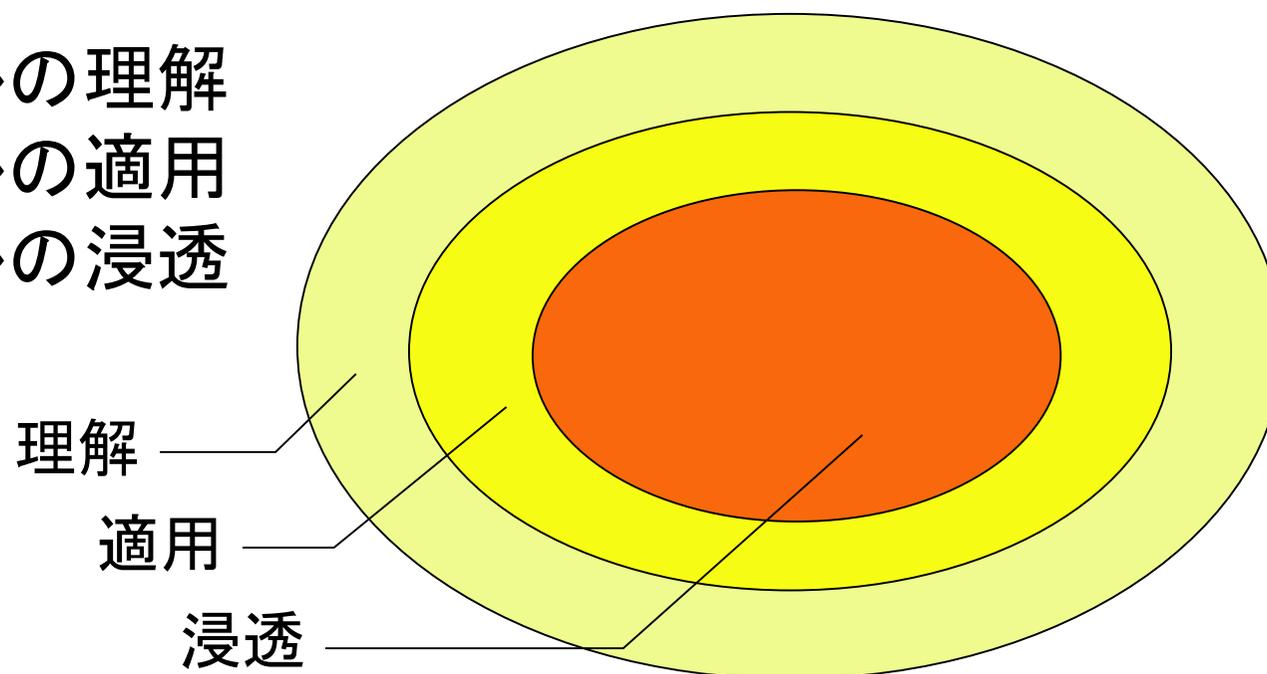
2018年4月7日  
麻生区ジュニアサッカー連盟  
審判部

# 本日の流れ

## テーマ

「レフェリーとしての基礎の確認」  
～2018年度公式戦担当へ向けて～

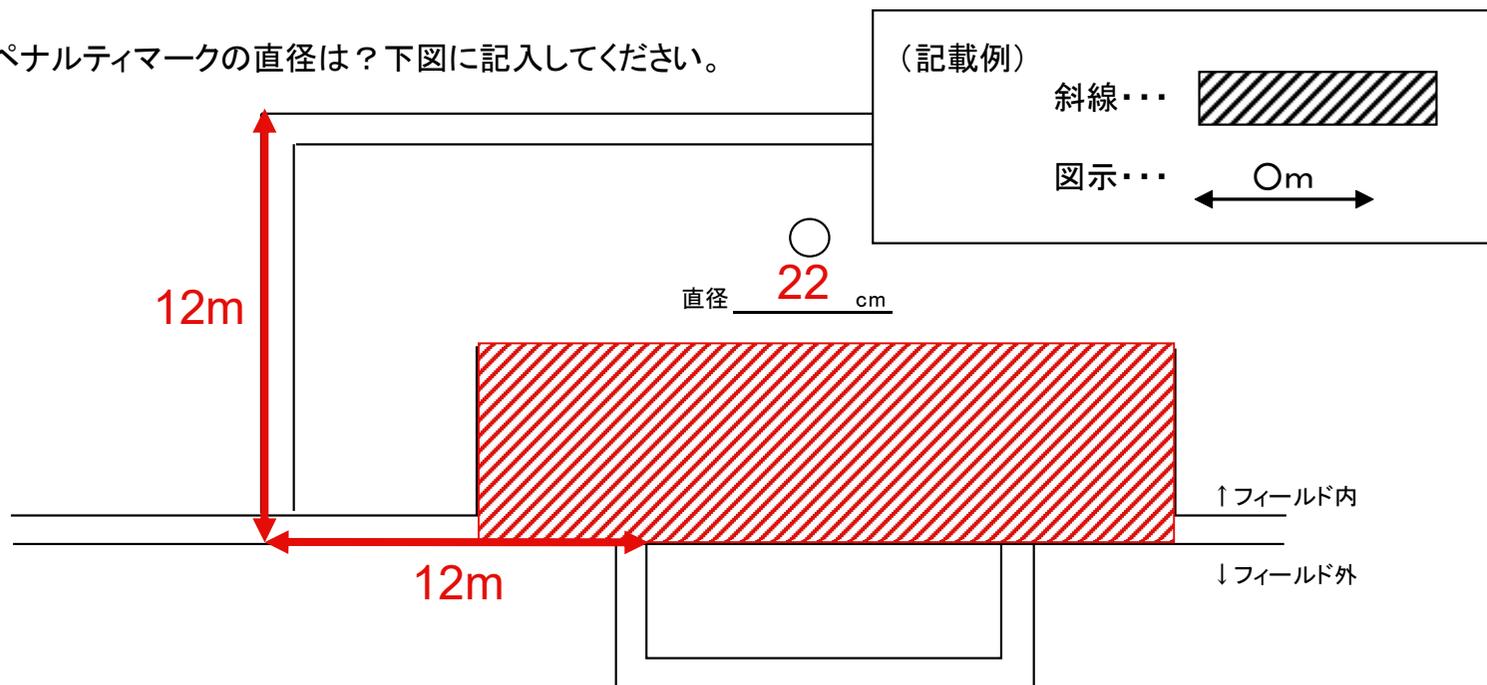
1. ルールの理解
2. ルールの適用
3. ルールの浸透



# 1. ルールの理解

## 競技のフィールド

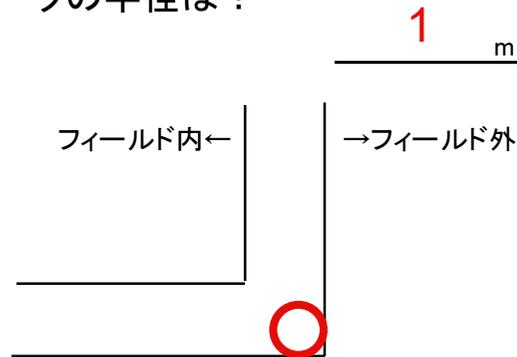
- ①ゴールエリアの範囲はどこか。記載例を参考に下図に斜線で示してください。
- ②ペナルティエリアを描くとき基準とする距離について。「どこからどこまでか」そして「何メートルか」を、記載例を参考に、ゴールライン上とゴールラインと垂直なペナルティライン上にそれぞれ図示してください。(少年基準)
- ③ペナルティマークの直径は？下図に記入してください。



# (問題)

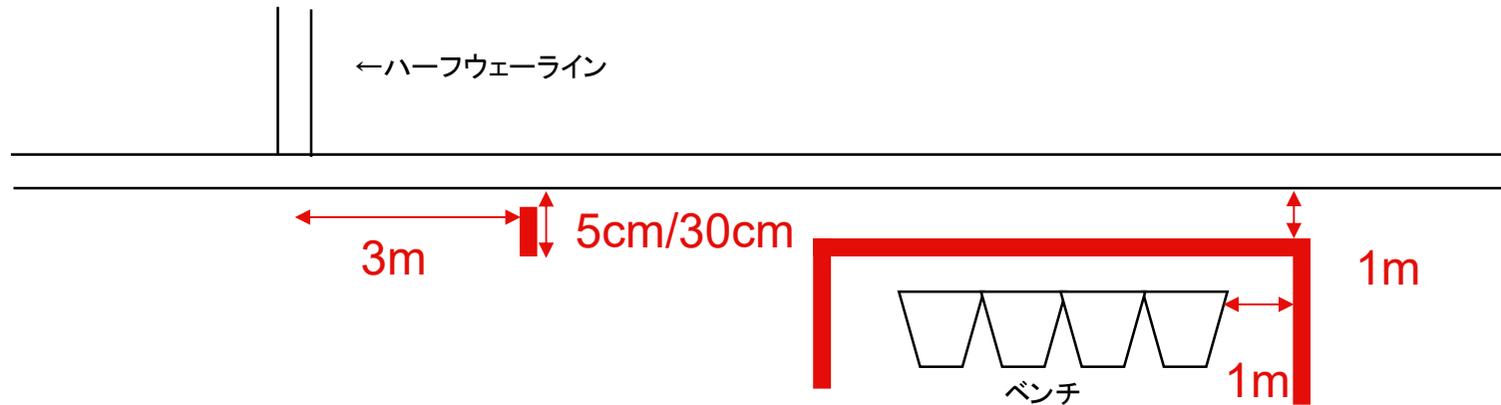
④コーナーフラッグポストは、どの位置に設置するべきでしょうか ○ を下図に記入してください

⑤コーナーアークの半径は？



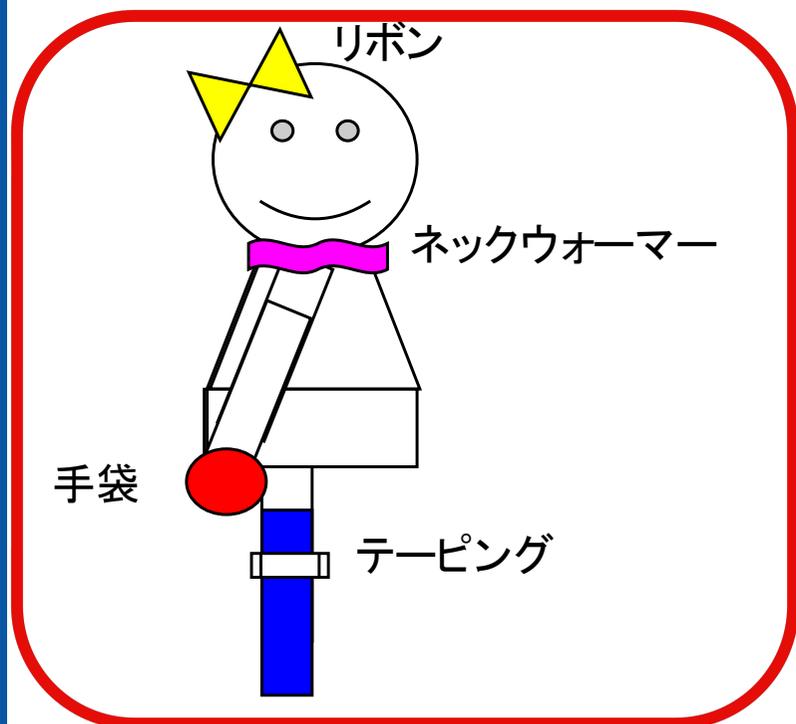
⑥テクニカルエリアを描いてください

⑦8人制サッカーの交代ゾーンを描いてください



# (問題)

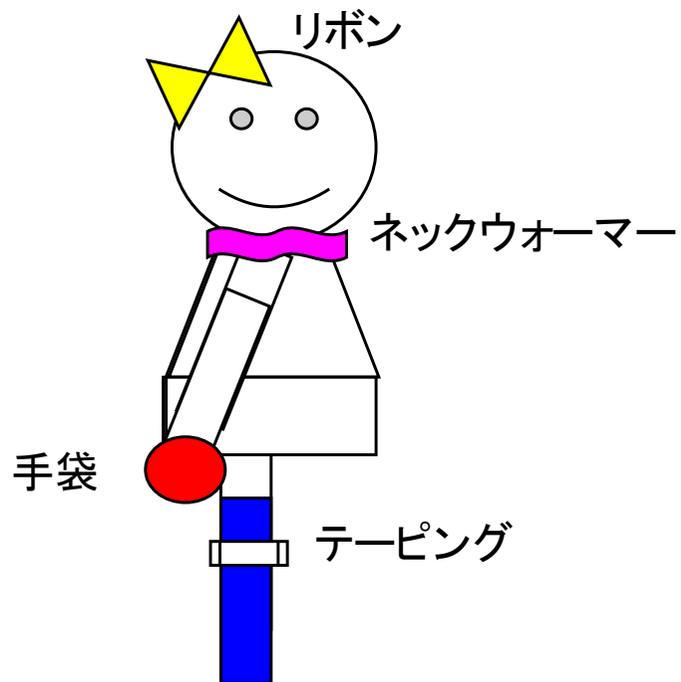
競技者の用具 着用の可否を判断しましょう



- リボン・・・飾りであれば×。髪留めとしてゴム等の着用はOK。
- ネックウォーマー・・・装飾品として×。プレー時に危険を伴う。
- 手袋・・・一定の保護をするものとして○。
- テーピング・・・着用する部分のソックスの色と同じであれば○。

# (問題)

競技者の用具 着用の可否を判断しましょう



紺スポーツメガネ・・・OK

黒アンダーシャツ・・・シャツの袖の主たる色と同じでない×。

黒アンダーショーツ・・・ショーツの主たる色と同じ色でない×。

## (問題)

<○か×か、×なら間違いを指摘しましょう>

①主審がファウルの笛を吹いたが、直後に間違っていることに気付いたため、そのまま続けさせた。

× : ドロップボールで再開

②タッチライン沿いを突破し、ボールが一瞬タッチライン上を通ったためスローインで再開した。

× : ボールの全体がラインの外に出るまではインプレー

③FWが最終ラインで駆け引きをしており、味方がボールを蹴った瞬間、腕が出ていたため反則とした。

× : 手や腕はオフサイドの判定には含まない

## (問題)

<○か×か、×なら間違いを指摘しましょう>

④キックオフ時、3人の競技者がセンターサークル内にいたため、1人下がるよう指示した。

× : キックオフするチームの競技者は何人いてもよい

⑤キックオフ時、ボールを後方の味方へパスをして開始したため、やり直しを指示した。

× : ボールが明らかに動けばキックオフ成立。

⑥スローイン時、おでこにボールを構え、両手で味方にパスした。

× : 頭の後方から頭上を通して両手で投げないと×

⑦スローイン時、間違った位置からボールを投げた。

× : 相手チームのスローイン(投げる前に修正を！)

## <事象に対する判定を答えましょう>

⑧ゴールキック時、キックを行ったが、キックをミスしペナルティエリアからゴールラインを越えた。

インプレーになっていないのでやりなおし

⑨ゴールキック時、キックを行ったが、ペナルティエリアを出る前に同じ競技者が再び触れた。

インプレーになっていないのでやりなおし

⑩ペナルティキック時、キックがゴールポストに当たって跳ね返り、キッカーがゴールした。

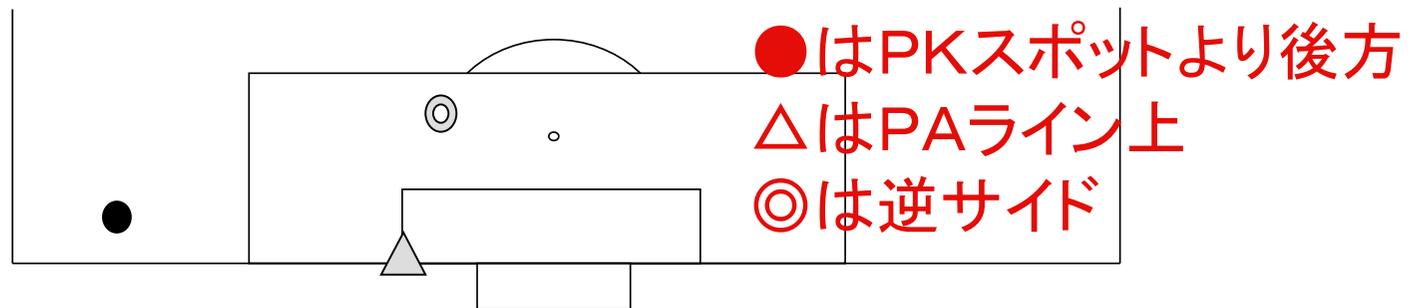
相手チームの間接フリーキック

⑪ペナルティキック時、キックがゴールキーパーに当たって跳ね返り、キッカーがゴールした。

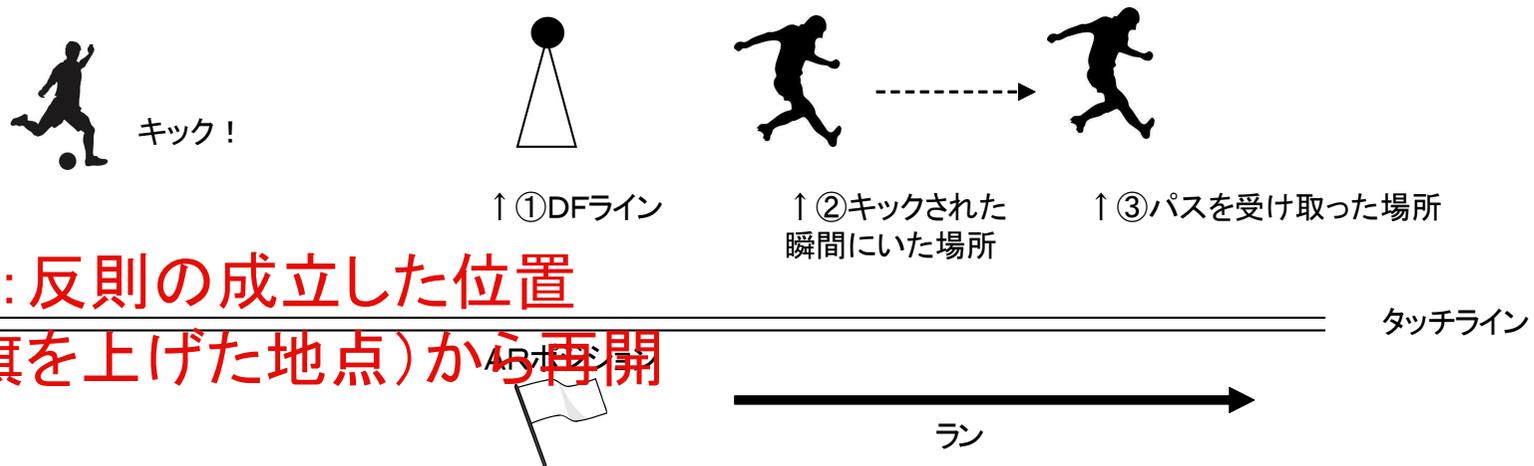
ゴール

## <間違っていれば指摘しましょう>

⑫ゲーム中、ペナルティキックでキッカー以外の競技者が●、主審が◎、副審が△の位置で再開した。



⑬オフサイドの反則が成立したため、キックの瞬間にいた②の地点から間接フリーキックで再開した。



<○か×か、×なら間違いを指摘しましょう>

⑭負傷者が出て、ドクターの入場を認めた。外で治療するほどではなく、ドクターは様子を確認してそのまま引き返し、負傷者がフィールドにとどまった状態で試合を再開した。

×:ドクターを入れたら競技者も外へ出ないといけない

⑮警告の対象となるプレーが生じたが、ファウルされたチームの優位な展開となったためアドバンテージを適用し、アウトオブプレーで措置した。

○:ただし、次のアウトオブプレー時を逃したらもう出せない

⑯ゴールを認め、キックオフで再開しようとしたが、オフサイドの判定を示す旗に気付いたため、得点を認めず、間接フリーキックで再開した。

○:プレーを再開する前であれば間違いを訂正できる

<○か×か、×なら間違いを指摘しましょう>

⑰8人制サッカーで、一人レッドカードによって退場者が出た。試合は6人以上いるので成立することから、試合をその時の再開方法で再開した。

× : 8人制は退場者が出た時は補充できる

⑱8人制サッカーで、キックオフから直接ゴールを決めた。ゴールを認め、キックオフで再開した。

× : 8人制はキックオフゴールは認められない

⑲延長戦ののち、両者同点のままPK戦となった。3人ずつ蹴ったところで得点に差が出たので、多く得点したチームを勝者とした。

○ : 8人制は試合の勝者決定するPK戦は3人ずつ蹴る

## 2. ルールの適用

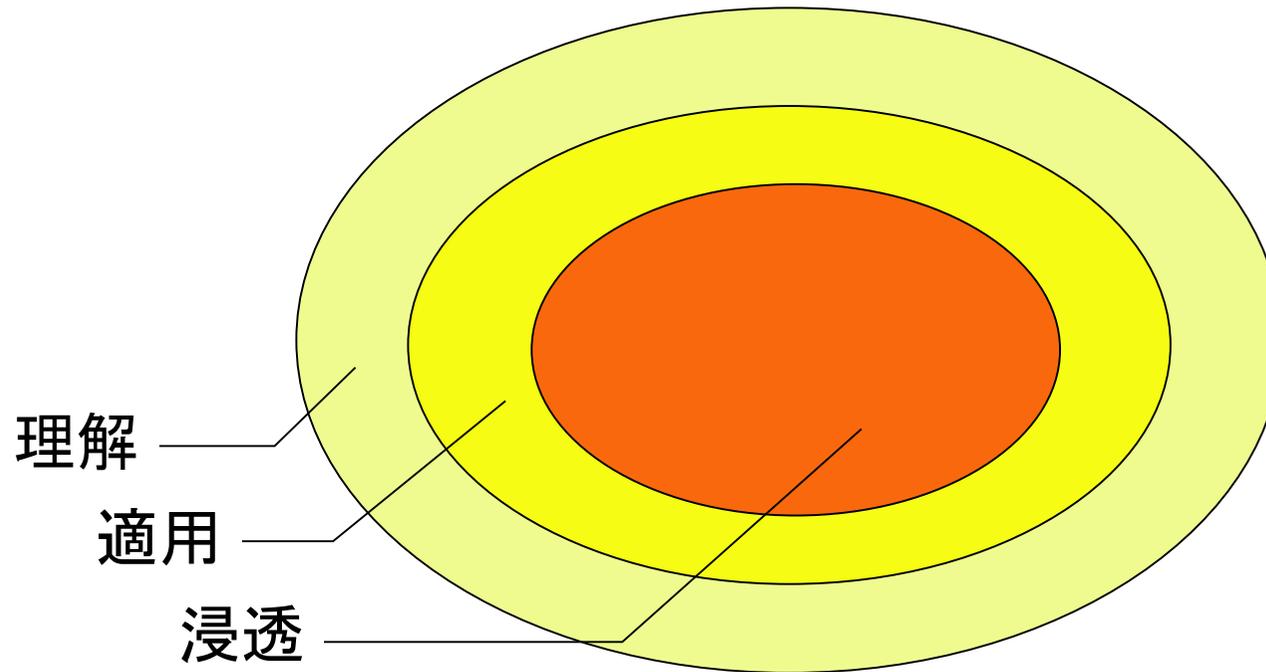
### 【判定トレーニング】

映像を見て、

- ・ファウルか否か
- ・懲戒罰(警告、退場)はあるか
- ・試合の再開方法は何か

を答えましょう。

### 3. ルールの浸透



理解：競技規則を、その理念や背景も含め正しく理解すること。  
適用：目の前の事象に規則をスピーディかつ正しく適用すること。  
浸透：毅然とした態度、明確なシグナルで、競技者にルールを浸透させること

★理解できていても適用できないとダメ！★  
★そして、それを浸透できないとダメ！★

## ＜基本動作＞

### 【笛の吹き方】

- ・フーではなくトウー！
- ・笛にメリハリを（重大なファウルは大きさと寄せ！）

### 【旗の振り方】

- ・旗は手の一部（主審を的確にサポート）



## 【走り方】

- ・対角線式審判法
- ・ただし、一番大切なのは近くでジャッジすること！
- ・副審は基本ラインキープ。シュート時はゴールラインまで走る。
- ・旗は常に中に(サイドステップを多用すること)



## 【ゴール前の直接フリーキック】



- ・ファウルの笛を吹く
- ・再開場所へ急ぐ(懲戒罰がある場合提示)
- ・壁を下げるか聞く
- ・笛の合図で再開することを告げ、壁を下げる  
(壁の場所は歩測で示す。ボールから目を離さない)
- ・笛の合図で再開する

## 【試合の勝者を定めるペナルティキック】



- ・試合終了のホイッスルを吹く
- ・キックの順をきめる
- ・コインをトスする(勝ったほうが先か後をきめる)
- ・コインをトスする(キックを行うゴールをきめる)
- ・キックを開始する  
(キックの順は主審があらかじめ知る必要はない)

ペナルティーキックの結果

	ゴール	ノーゴール
攻撃側競技者による侵入	キックを再び行う	間接フリーキック
守備側競技者による侵入	ゴール	ペナルティーキックを再び行う
ゴールキーパーによる反則	ゴール	再び行う+警告
ボールが後方にけられた	間接フリーキック	間接フリーキック
不正なフェイント	間接FK+警告	間接FK+警告
特定されていないキッカー	間接フリーキック +特定されていないキッカーに警告	間接フリーキック +特定されていないキッカーに警告
<u>ゴールキーパー</u> <u>およびキッカーが</u> <u>同時に反則</u>	<u>間接フリーキック</u> <u>+キッカーに警告</u>	<u>ペナルティーキックを再び行う</u> <u>+キッカーとゴールキーパーに</u> <u>警告</u>

## 【負傷者発生時の対応】



- ・負傷者が発生
- ・重症を負ったと判断した場合は試合を止める
- ・続けられるかを聞く
- ・続けられない場合は外へ搬出(必要ならドクター)
- ・プレーを再開する
- ・主審の合図を受けてフィールドへ復帰する

# 麻生区ジュニアサッカー連盟審判部

## ○審判部について○

### 審判部

田中	審判部長 真福寺FC
安藤氏	百合丘子どもSC 審判担当
加藤氏	南百合丘SC 代表 川崎市サッカー協会副理事長
岸本氏	元柿生SC
酒井氏	真福寺FC
馬場氏	柿生SC
渡邊氏	柿生SC

### レフェリー サポーター

10名 麻生区の各チームより有志

## ○主な活動○

- (1)主要大会の本部付けアドバイザー対応
- (2)主要大会の上位試合を連盟割り当て
- (3)審判講習会の開催



等

## 主な活動内容

- (1) 審判講習会(4月)
- (2) 春季低学年大会麻生地区予選
- (3) NKリーグ5年生大会
- (4) 審判講習会(9月)
- (5) NKリーグ3年生大会
- (6) 新人戦5年生大会麻生地区予選
- (7) トレセン大会対応

## 麻生区審判部の2018年度目標

「やって、示そう！」

- ・・・麻生区を代表するレフェリーを多く輩出するために、  
自らが麻生区を代表するレフェリーとして認められること

# 麻生区レフェリーサポート制度について

## 一緒に、レフェリー、やろう！

麻生区では、主催大会を数多く実施しています。子どもたちの熱い戦いをサポートし、成長を支える黒子となるのがレフェリーです。

ぜひ私たちと一緒に、麻生区のジュニアサッカーを盛り上げませんか！

### <募集概要>

- **主管** : 麻生区ジュニアサッカー連盟（以下「連盟」） 審判部
- **活動内容** : 連盟主催試合・トレセン試合の審判対応、審判講習会補助 等
- **参加要件** : 連盟所属チーム関係者（コーチ、父母、選手、OB）であり、  
所属チームの了承のもとで活動を許される方。  
サッカー審判員資格を保有している方。（今後取得を検討されている方も応相談）
- **応募方法** : 連盟審判部 田中までメールにて応募ください [becks.hajime@gmail.com](mailto:becks.hajime@gmail.com)

ご清聴、ありがとうございました！



麻生区ジュニアサッカー連盟  
審判部 田中

ルールに関するご質問等お気軽にお問い合わせください  
[becks.hajime@gmail.com](mailto:becks.hajime@gmail.com)